

東日本大震災以降、『自分には何ができるだろうか?』ということも多くの方が考え、そして行動しています。被災地に再び平穏な暮らしが戻るまでには、今後も継続的な支援や応援の声が必要です。少しでも多くの思いを被災地へ届ける為にはどのような方法があるのでしょうか。ここでは、独自の方法で支援に取り組む魅力的なプロジェクトをご紹介します。

\がんばろう、日本!/\



● キャンドルのデザインには、『鎮魂』『節電』『温もり』『原点復帰』『三世代の支えあい』の意味が込められています。

さりげないエールに思わず微笑む

**デザインバーコード【がんばろう日本!】**

本来、商品の裏方であるバーコード。しかし、この『デザインバーコード』は、商品のさりげない場所からエールを送っています。手に取った商品に、そのかわいいエールを見つけた時、思わず微笑してしまうのではないのでしょうか。

このバーコードを手がけているデザインバーコード(株)では出来るだけ多くのエールを被災地へ届けたいとの思いから、希望する企業のバーコードを無償でこのデザインに変更するサービスを行っています。

日本中に流通するバーコード。サイズは小さくても、賛同する商品が増える度に大きな応援歌となるのではないのでしょうか。

■ 企画【デザインバーコード株式会社】



● 表ラベルは全12蔵元共通。裏ラベルには各蔵元の思いを乗せた直筆メッセージが入っています。

**KANPA(カンパ)とi(愛・私)を KANPA+i 0311PROJECT (カンパ・プラス・アイ)**

チャリティー日本酒企画『KANPA+i 0311 PROJECT』は、被災地のために何かしたいという“酒店”と“蔵元”の思いを束ねてできたチャリティー企画です。多くの方が参加できて、パワーを集められる方法として、全国12場の蔵元有志によるチャリティー日本酒を販売しています。1本購入ごとに21円(21世紀、日本をひとつに)が義援金として被災地に送られます。

おいしいお酒を造ること、売ること、買うこと。それぞれが支援につながる仕組みです。日本酒を通じたチャリティーイベントやオークションなど、多くの方が参加できる企画も催されています。

■ 企画【株式会社はせがわ酒店】



● ホッピーと共にそれぞれの国難を乗り越えてきた創業者、2代目。そして強い覚悟で震災復興に臨む3代目(現社長)が描かれています。



～『生き抜こう』×『息抜こう』～  
**ホッピーdeいきぬこう作戦**

『ホッピーdeいきぬこう作戦』は、この国難に立ち向かって“生き抜こう”という思いと、がんばり過ぎた時には、ホッピーで“息を抜こう”という思いが込められています。

終戦・オイルショックと、日本再建に汗を流した人たちを癒し、復興を裏で支えてきたホッピー。酒場から元気を発信しています。この作戦のシンボルマークやポスターからは、復興にける強い使命感が伝わってきます。売り上げの一部は義援金として被災地に送られます。

■ 企画【ホッピービバレッジ株式会社】